

奥州湖周辺エリア活用整備構想（素案）に係る意見公募（パブリックコメント）実施結果について

1 意見公募（パブリックコメント）手続の実施概要

(1) 意見募集期間 令和6年1月25日（木）から令和6年2月13日（火）まで

※素案公表日は、意見募集期間初日に同じ

(2) 閲覧場所 市ホームページのほか、市役所政策企画課、生涯学習スポーツ課（江刺総合支所）、前沢・胆沢・衣川総合支所地域支援グループ

(3) 意見を提出できる方 市内に在住、勤務、通学している方

(4) 意見の提出方法 住所・氏名・電話番号等を明記し、「郵送」、「ファックス」、「電子メール」、「持参」のいずれかの方法による

2 意見の提出状況

提出者：14人 意見数：46件

3 意見への対応区分と件数

A：構想へ反映させるもの 2件

B：構想と同趣旨あるいは記載済のもの 2件

C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの 27件

D：その他、要望・意見・感想等 15件

4 意見とそれに対する検討結果等

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
1	1-1	<p>●「滞在型観光」を促進するために、ツーリズムの軸となる重要拠点（プラットフォーム）を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の視点で大きな課題となるのが交通（アクセス）面 ・現在のようなアセット（お店や資源）が分散している状態は、限られた旅行機会・時間の中で、十分な体験価値を提供しづらい環境であると考え ・今回の構想ではいくつかの拠点施設が点在しているが、観光客の体験価値を最大化するために、その中でもツーリズムの軸となる重要拠点（プラットフォーム）を作る必要があると考える ・具体的には、【食：地産地消・産直】と【アクティビティ：ツアー・用具のレンタルと販売】をひとつの拠点に集約した拠点づくり 	<p>滞在型観光を促進していくためには、既存の観光施設や飲食店、交通事業者や宿泊施設など、地域全体での連携を強化する必要があると認識しております。</p> <p>いただいたご意見も参考としながら、アウトドアツーリズムの推進を契機とした滞在型観光の促進について検討してまいります。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
2	1-2	<p>●重要拠点（プラットフォーム）は閉校する「愛宕小学校」を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛宕小学校は奥州湖から約4 km（車で10分程）の距離であり、今回のサイクリングルート構想の3つのルート上に位置する。また国道沿いでありアクセスも容易であり、今回の構想における好立地である。 ・学校の廃校の活用は全国で推進されており、「集客・にぎわい」づくりのとしてモデルケースが多数存在しているため、ノウハウや運営展開の事例があり、再現性がある 	<p>本構想におけるアウトドアツーリズム拠点施設への新たな位置づけはいたしません。廃校後の胆沢愛宕小学校については、民間活力での利活用策を見据えながら、地元との協議を進めてまいります。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
3	1-3	<p>●ツーリズムのプロモーションはターゲットを絞って集客を行う</p> <p>全国のアウトドアツーリズムを推進する観光地が競合となるため、全方位に対してのプロモーションは効果が薄く、ターゲットを明確にしたプロモーションが必要と考える。また、プロモーションを行う順番としては最低限、ツーリズムと旅行の体験価値のクオリティの担保（バケツに穴が空いていない状態）を作ってから、継続的なプロモーションを軸としたブランディング（水を入れる）が必要であると考え。</p> <p>プロモーションの案</p> <p>①民間企業との連携協定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・mont-bellのような民間企業（サイクリング・カヌー）との連携協定 ・連携協定を結ぶことにより、協定先の民間企業の周辺のコミュニティから見込める観光客を連れてくる <p>②アウトドアを軸にしたエンタメイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレイルマラソン、ロードレース大会などのアウトドアを軸としたイベントの実施 ・「集客」の販促目的として実施し、大会自体の収益性は最低限とする ・体験価値最大化するために、イベントに付加価値をつける <p>③オンラインを活用したプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS/Youtubeでターゲットに近いインフルエンサーを活用 ・ターゲットに近いコミュニティ・人に直接プロモーションを行う 	<p>本構想の施策の一つである情報発信（プロモーション）において、アウトドアに興味がある層にターゲットを絞ったプロモーション展開の必要性を掲げているところですが、いただいたご意見も参考に今後の効果的な観光プロモーションの方策について検討してまいります。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
4	2-1	SUPは楽に見えるが、割とハードルが高い。また、進む速度が遅いので目的地まで時間がかかる。立っているだけで疲れるし、向かい風に弱く更に疲れる。すぐに飽きが来て、短期間のうちにまた乗ってみようという気にはなれなかったので、カヌーに絞った方が良いと思う。 カヌーの醍醐味は川下りにあるが、激流部の胆沢川をカヌーで下るには、テクニックを備えた上級者でなければ無理。カヌーをやってみたいと思う人には、最初に奥州湖や馬留池等の静水でパドルングの基礎を学んでもらい、水の上で自由になる喜びと、川面の視線で変わる風景の楽しみを覚えてもらうことが重要となる。	本構想では、奥州湖周辺エリアで体験できる代表的なアウトドアアクティビティとしてラフティングやカヌー、SUP等をあげているところであり、個別・具体の事業の検討にあたっては、いただいたご意見も参考とさせていただきます。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
5	2-2	●焼石連峰ビーチライン サイクリングルート 賞金総額〇万円の「ツールド奥州東成瀬」や「ツールド奥州増田」等の冠で、水沢・秋田間を往復するサイクリングレースを、毎年か数年毎に開催してはどうか。参加者が遠方からも来るのではないかとと思う。大森トンネルを抜けた長い下りはとても魅力。	本構想におけるモデルルート案における東成瀬村との広域ルートについては、コースタイムの設定が長時間となること、ルートの安全性などの面から見送った経過がございます。 いただいたご意見については、今後の広域観光の推進において、参考とさせていただきます。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
6	3-1	●複合的ルート（シートゥサミット） シートゥサミットはいいイベントだと思う。シートゥサミットの開催はダムフェスの開催時と一緒によろしいかと思う。大会の内容は、ラン、SUP、ロードバイクの組み合わせで、ランとロードバイクは構想のコースも使用。SUPは奥州湖周辺をグルッと周り最後はカヌー競技会場がゴールとなる。種目は駅伝方式、ラン、SUP、ロードバイクでチーム対抗と個人種目にすればいいかと思われる。 常日頃からロードバイク、サイクリング、カヌー、SUP、ラフティング、トレッキング、トレイルラン、ランなど様々なジャンルの仲間が集う拠点にすれば、その拠点となる所で、年間使用料などを徴収すれば、補助金を必要としないため、衰退はしなくなると思う。逆に補助金ありきりの運営をすると衰退の一途を辿るので、紫波のオガールのような運営を目指せばアクティビティとしての民間運営が実現し、雇用、人材育成なども可能になると思う。	「SEA TO SUMMIT」は、海（湖、川）・里・山に親しむイベントとして、アウトドアアクティビティを楽しむだけでなく、自然と触れ合い、環境について考えることで、自分たちをとりまく自然環境を再認識できる「環境スポーツイベント」です。この事業の趣旨から、開催種目及び実施順についても、①カヤック、②自転車（バイク）、③登山（トレッキング）と定められております。 いただいたご意見において、民間運営の手法等については、個別・具体の取組の検討にあたっての参考とさせていただきます。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
7	3-2	キャンプ施設について、スノーピークの陸前高田にあるキャンプフィールドを参考にされてはいかがか？ハードルが高い方にはお手頃なフィールドを設けるなどする。 お客さんは目に見えて目減りするので半年から一年くらいの周期でイベント、模様替えなどをする必要もある。	本市では、アウトドア活動等の促進を通じた地域経済の活性化と市民生活の質の向上に寄与することを目的に、総合アウトドア企業である株式会社モンベルと包括連携協定を締結しているところで、今後の個別・具体の取組の実施にあたっては、株式会社モンベルからの提言・助言をいただきながら検討を進めていくこととしております。 いただいたご意見については、今後のフィールド整備、イベント実施にあたっての参考とさせていただきます。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
8	3-3	温泉施設について、キャンプ場に温泉施設がある所は需要が高い。焚き火をした後、煙の匂いが気になったり、疲れを癒す所ある温泉が好まれると思ひ、ひめかゆ温泉は泉質がいいと評価が高いのでこれを売りにすべきだが、建物の外観はがっかりしてしまい、せっかくいい泉質の湯なのに勿体ない。外観はやはり大事。リニューアルを検討して頂きたい。	ひめかゆ温泉は民間事業者に譲渡しています。いただいたご意見については、同事業者と共有させていただきます。	D：その他、要望・意見・感想等
9	3-4	●サイクリング サイクリングをしていてトラブルにみまわれた際、補修キットを持っていない場合は何ヶ所かにドローンを設置し、スマホと連動させてトラブルになったお客様からの知らせを受け、ドローンを管理している会社（自転車のパーツを持っているお店等）がドローンを飛ばして補修キットを届けるシステムにすれば、人件費の削減、時間の効率化などが図られるのではないかと。	本構想において、サイクルステーションの設置によるバイクラック、自転車用具の整備の必要性について掲げているところですが、ドローン活用については、費用対効果や管理運営体制なども踏まえた検討も必要となります。 いただいたご意見については、今後の個別・具体の取組の検討にあたっての参考とさせていただきます。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
10	4-1	●構想の対象エリアが狭すぎる 自然は行政エリアとは関係なく、焼石岳なら、栗駒国定公園内であり、焼石連峰は、奥州市、西和賀町、北上市、東成瀬村が範囲である。利用する人も、行政単位で動くのではなく、触れたい、感じたい自然などを目的に行動するので、自然そもそもや活ユーザー目線を中心に考えるべきと思う。従って、奥州市の行政範囲のみでなく、もっと、関係自治体とへの積極的な働きかけがなければ、自然そのものを生かした構想はできない。今回、奥州市が本構想を本気で行うのであれば、自ら提案して、関係自治体をも動かす気概がなければならぬ。（これまでも、消極的だったと思われる）	本構想におけるアウトドアツーリズム構築の課題の一つとして、広域連携を掲げているところで、モデルルート案における焼石岳登山ルートは、奥州市を起点とした一般的なルートである中沼、つぶ沼の2ルートを設定させていただいたところ。 いただいたご意見については、焼石連峰をツールとした広域観光の推進にあたっての参考とさせていただきます。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
11	4-2	●施設・設備等が既存のものが前提であり、発想が貧弱である 現在の自治体は、財政が厳しいことを理由に、何事にも消極的だが、資金の調達方法として、ふるさと納税のみでなく、クラウドファンディングなどの多様な調達方法があるので、積極的に活用すべきである。本構想には、mont-bellの既存のサービスを利用する観点のみで、より、mont-bellの知見とノウハウを利用する視点が欠けているように思える。その上で、本構想実現のためには、知見やノウハウを取り入れて、新設の設備・施設を導入すべきと考える。	個別・具体の事業の実施にあたっては、いただいたご意見を十分に留意のうえ、包括連携協定を締結している株式会社モンベルからの提言・助言をいただきながら、検討を進めてまいります。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
12	4-3	●登山ルート エリアは行政単位で無く、自然環境の中心である焼石連峰を中心に、そして利用する人を中心に考えるべき。そうすると、焼石岳を中心として、中沼ルート、つぶ沼ルート、東成瀬ルート、西和賀ルート、夏油温泉ルート、横岳ルート、直登ルート(中沼登山口から)、そして現在廃道の牛形山ルートなどを対象にし、整備すべきである。特に、直登ルートは、若者を中心に、中沼～金明水～焼石岳～銀明水～中沼登山口という、周回ルートで登山している方が増えている。また、横岳ルートは、紅葉時期の横岳の景観は素晴らしく、登山者が根強くあり、正式ルートとして復活を望む声が多い。	本構想に掲げるモデルルート案については、他の事例なども参考に本市における候補の一つとして例示しているものです。 いただいたご意見については、焼石連峰の登山道整備にあたっての参考とさせていただきます。	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
13	4-4	<p>●登山ルート</p> <p>素案には、金明水避難小屋の位置付けが僅かしかないが、様々なルートの中継地点としての存在は大きく、この施設を活かすことで焼石連峰の魅力が大きく増すものとする。焼石連峰全体を俯瞰して見るに、各ルートを利用することで、複合的ルート(SEA TO SUMMIT)の設定ルートも広い範囲での設定が可能であり、より上級者を呼び込むことが可能であるとする。上級者の参加で、より裾野の広い参加者が期待出来、息の長い開催が可能であるとする。</p>	<p>「SEA TO SUMMIT」は、海（湖、川）・里・山に親しむイベントとして、アウトドアアクティビティを楽しむだけでなく、自然と触れ合い、環境について考えることで、自分たちをとりまく自然環境を再認識できる「環境スポーツイベント」で、①カヤック、②自転車（バイク）、③登山（トレッキング）を組み合わせて1日で巡るコース設定が必要となり、金明水を含むコース設定は現実的に難しいものと想定されます。</p> <p>いただいたご意見における金明水避難小屋の活用については、焼石連峰をツールとした観光振興の推進にあたっての参考とさせていただきます。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
14	4-5	<p>●登山ルート</p> <p>多くの人を迎えるためには、安全面の充実が欠かせない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の整備 <p>中沼や東成瀬側の登山口の駐車整備は欠かせない。特に、中沼登山口については、シャトルバスの運行などが検討されているが、登山者のニーズである、ピストン、周回などの登山パターンなどから不十分である。登山者のニーズを考えると、一律にバスでの送迎より、現在の駐車場を森林管理署の協力を得て拡大整備する方が、費用面も含め現実的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岳看板の設置 <p>焼石連峰には、過去に設置した看板が老朽化や破損しており改めて設置が必要である。特に、焼石岳頂上の標識(木棒)が栗駒山と比較しても貧弱であり、再設置が望まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山道の整備 <p>登山道、特に木道はかなり老朽化し、やむ無く木道外を歩く登山者が多くなり、環境の破壊を生じさせている。さらに、老朽化により木道設置の際に使用した釘やカスガイが露出し、登山者が危険に晒されている状況である。木道を始めとした、登山道の整備を早急に変更し、自然環境の保護と登山者の安全の確保を図る必要がある。</p>	<p>焼石連峰の登山に関連した駐車場や登山道の整備要望については、国定公園内であり保安林であることから、県や森林管理署と協議し、安全に登山ができるよう環境整備に努めてまいります。</p>	D：その他、要望・意見・感想等
15	5-1	<p>●仙北街道サイクリングルート</p> <p>サイクリングコースに「鹿合館跡」の追加を希望する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内のトイレが故障しているため、修繕を行う必要がある。 ・城跡の散策路の復活検討をお願いしたい。 ・水沢公園西側、奥州街道と仙北街道の分岐点に説明板を設置していただきたい。 ・天文台通三石碑、国分追分石、供養塚追分石、堰袋地内（鹿合道）に設置してある説明板・道標の破損が著しく説明文も読めなくなっており、修繕していただきたい。 	<p>本構想に掲げるモデルルート案については、他の事例なども参考に本市における候補の一つとして例示しているもので、今後、ジャパンエコトラックへの登録も見据えた検討を進めていくこととなります。</p> <p>なお、鹿合館跡公園については、トイレ・散策路の修繕を行う計画はありません。また、説明板、標柱等の新設および修繕については、状態及び設置者を確認し、必要に応じた修繕に努めてまいります。</p>	D：その他、要望・意見・感想等

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
16	5-2	胆沢町時代ゲートポール場として、使用していた場所（未使用地）を、キャンプ場として活用する。	<p>本構想は、アウトドアアクティビティを活用したまちづくりを進めるための基本的な方向性を示すもので、アウトドアツーリズムの重要拠点として奥州湖交流館の再整備を構想に位置づけ実施していくこととしています。</p> <p>本構想に掲げる施策に基づく個別・具体の事業等については、広く官民連携の手法での具現化を念頭に、必要に応じた関係団体、事業者、市民等との連携協議を進め、取り組んでいくものとなります。</p>	D：その他、 要望・意見・ 感想等
17	5-3	<p>●自然観察</p> <p>昆虫・水生生物の観察事項（場所）の追加。</p> <p>・胆沢ダム下流、衣川ダム下流域、江刺のため池、北上川より東側ため池などに生息する、水生生物「しじみ、カラス貝、バカ貝」・「ホタル、メダカ、カジカ、ドジョウ、ヤツメウナギ、タナゴ」など。</p> <p>・市民から情報を受ける仕組みづくり</p> <p>・マップの作成と観察重要地点の設置など。</p>	<p>本構想に掲げるアクティビティ、フィールドの活用策については、他の先進事例や先行事例の本市における横展開のイメージとして例示させているものであり、個別・具体の事業の検討にあたっては、いただいたご意見も参考とさせていただきます。</p>	C：構想には 反映させず、 今後の参考等 とするもの
18	6-1	<p>●SUPAの奥州湖での活動明記</p> <p>現在、奥州湖交流館では、SUPA(日本スタンドアップパドルボード協会)SIJ(日本スタンドアップパドルボード指導者協会)の資格で、SUPツアーを開催している。</p> <p>JRCA(日本レクリエーションカヌー協会)と、SUPA(日本スタンドアップパドルボード協会)の奥州湖での活動明記をお願いしたい。なぜなら、カヌーは、JOC認定競技別強化センター(以下JOC)が、関わっていくのに対し、SUP競技は、JRCAだけでは、正式なSUPの公式大会開催には繋がらない。現状、SUPAの団体が、日本で行われるジャパンカップなどのワールドカップにつながる公式戦開催に携わっている。JRCAは、SUPの団体ではなく、カヌー協会の団体なので、SUPの公式な大会を開催することができない。</p> <p>だからこそ、『カヌーは、モンベルの管轄下でもあるJRCA』そして『SUPは、SUPA』と、全く違う方向で考えて頂きたい。</p> <p>SUPのインストラクターやツアーガイドになる場合、圧倒的に、SUPAで資格を取得する人がほとんど。多くの日本のSUPスクールは、圧倒的にSUPAの資格で雇用されている。研修の経験があるツアーガイド、インストラクターであれば、安全に危険回避することができる。SUPの団体SUPAだからこそ、奥州湖での人材育成の講習会に、参加希望が多く集まると考える。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、本構想P74「ガイド登録に必要な基準（資格等）の例」において、「SUPA公認インストラクター」を追記することとします。</p>	A：構想へ反 映させるもの

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
19	6-2	<p>●企業提携の課題と対策</p> <p>モンベルとのコンサルティングの提携は良い事と思いますが、それは、あくまでモンベルの立ち位置が奥州市の外側である前提でなくてはならないと考える。企業提携する上で、課題となるのは、大きな箱モノを作り、購入した数年後には、放置されているという事が各地で繰り返されていること、現状、奥州湖交流館の艇庫には、一度も使われず、眠っている1艇、数十万円もするワイルドウォーターカヌーが5艇ある。奥州湖周辺の活用を考える人達が自分の都合を優先にし、既得利益者だけが、自由に動ける状態が地方自治体の中に根付いては、奥州湖周辺、または、奥州市の発展には繋がらないと考える。</p> <p>モンベルにたよりにきるだけではなく、これまで地域活性化の為に向き合ってきた奥州市民を信じ、ぜひ、協力を促して頂きたい。それだけの人材がすでに奥州市には、芽生えている。我々奥州市民も、行政と共に、地方創生や活性化より真剣に取り組んでいきたい。個人やグループ単位とのアクションは、連携に時間がかかるかもしれないが、長い目でみた『奥州市の活性化』には、理想のパターンだと考える。現在、行政が主催している“創業塾”のように、奥州市が斡旋して奥州市に事業を立ち上げようとしている人達を繋ぎ合わせた地域活性化への取り組みは、とても有り難く、大切な一歩だと感じている。</p> <p>また、企業連携の課題対策として、モンベルと提携した他市町村で起こった問題などのヒアリングを実施されていないようでしたら、早急に取りかかるべき。</p>	<p>人材・ガイド育成においては、市民が担い手の主体となる仕組みづくり、地域が一丸となった「おもてなし」の意識醸成が重要であると捉えています。</p> <p>いただいたご意見等を踏まえ、本構想P73「3-2. 人材育成（アウトドアガイド）」において、「地域」を強調した表記に改めることとします。</p>	A：構想へ反映させるもの
20	6-3	<p>●愛犬とのアクティビティーツーリズム</p> <p>愛犬も家族の一員という観念から、DOG SUPツアーは、犬と旅行ができ、犬と一緒に楽しめるアクティビティとして集客がある。加えて、ドッグカフェ、犬と一緒に泊まれる宿泊所、キャンプ場、ドッグランなど、滞在期間の延長が期待できる要素のアクティビティーツーリズムだと考える。</p>	<p>本構想に掲げるアクティビティ、フィールドの活用策については、他の先進事例や先行事例の本市における横展開のイメージとして例示させているものであり、個別・具体の事業の検討にあたっては、いただいたご意見も参考とさせていただきます。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
21	6-4	<p>●奥州湖フィールドの整備について</p> <p>湖面から見ると、尿前、おろせの他、4箇所のエントリーポイントがある。SUP、カヌーは、重量がありますので、駐車場から近くて、足場のいいエントリーポイントが必要とする。障がいのあるお客さま、シニア、子供のお客様のためにも、湖面まで、コンクリートにして頂きたい。</p> <p>おろせからのポイントでは、おろせ広場の正面から入り、Y路になった部分から、右に曲がって、おろせ橋の下に出ますが、クマなどの野生動物地帯になるので、左側のすすき地帯の草刈り、駐車場にする必要がある。携帯会社の電波の環境を整え、外部との連絡を取れるようにして頂きたい。</p>	<p>ご意見いただいた箇所につきましては河川区域内であることから、個別・具体の事業の実施にあたって整備が必要と判断される場合は、胆沢ダム管理支所との協議のうえ、検討を進めてまいります。</p>	D：その他、要望・意見・感想等

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
22	6-5	<p>●訪日外国人旅行者(インバウンド)への対応</p> <p>ツアーガイドは、多言語を話し、急なトラブルにも対応できるようにと考える。お客様には、口コミや、SNSを活用して、タグ付けをして頂き、アクティビティを広げて頂き、奥州湖でのアクティビティの魅力ある景観のポスターを作り、各国の大使館に送るなど、奥州湖の認知度を上げる事も必要と考える。現在、平泉、北上周辺では、海外からのお客様も増え、宿泊の温泉等にパンフレットを設置して頂いたり、奥州湖アクティビティの認知度が上がれば、集客につながると考える。</p>	<p>本市においても、近年台湾を中心とする外国人観光客が増加傾向にあることから、外国人観光客にとって魅力的な観光メニューを提供するとともに、効果的なプロモーションとニーズに即した環境整備を図り、受け入れ体制を充実していく必要があると考えます。今後、より効果的な情報発信(プロモーション)の検討するにあたり、いただいた提言内容も参考とさせていただきます。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
23	6-6	<p>●RV park(キャンピングカー)の新設について</p> <p>最近、キャンピングカーを使って長期の旅行者が増えていることから、RV parkの設置が新たな長期滞在につながると思う。大きな駐車場に、AC電源をつけ、公衆トイレがある場所であればRV パークになり、有料の施設となる。胆沢の以前、産直があった場所など候補地はあると考える。日本RVパークへ登録すると、多くのお客様への認知度が上がり r y。カヌーやSUPの大会の選手達の長期練習等、車中泊用の施設もあれば、周辺の商店、温泉などの活性化に繋がっていくと考える。</p>	<p>本構想に掲げる施策に基づく個別・具体の事業等については、広く官民連携の手法での具現化を念頭に、必要に応じた関係団体、事業者、市民等との連携協議を進め、取り組んでいくものとなります。個別・具体の事業の検討にあたっては、いただいたご意見も参考とさせていただきます。</p> <p>なお、ご意見いただいた箇所については、市有地を地域団体へ貸与し、地域主体での活性化に利用している箇所であることを申し添えます。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
24	6-7	<p>●大会誘致と運営について</p> <p>SUPA(日本スタンドアップパドル協会)東北支部では、東北6県でのSUPの公式大会を開催している。奥州湖も、秋田の田沢湖に続き、新しい候補地になっている。駐車場、エントリーポイントなどの整備、携帯電話の電波環境の整備が進めば、小さな大会から、大きな大会までの誘致が可能になる。尿前溪谷、猿岩の前のおろせ橋、全長13kmの恵まれた自然の景観、コースは、小さな大会も誘致ができる。</p> <p>JOCが認める素晴らしい胆沢川で、何人の奥州市在住のカヌー選手が、全日本の大会で上位で活躍していますか？ご存知のように、大谷選手の活躍が、奥州市の活性化に結びつけるように、素晴らしいフィールドを持つ事だけではなくて、選手達が活躍してこそ、奥州市の活性化につながる。SUPでは、全国規模の大会で活躍し始めている選手が、奥州市、奥州湖を、魅力ある場所として発信し、問い合わせも増えている。</p>	<p>現在、奥州市では、実行委員会を組織し、5月の第3日曜日において奥州きらめきマラソン、8月上旬にカヌージャパンカップを開催しており、予算や人的体制の面などから新たな全国規模の大会誘致は予定しておりません。市といたしましては、アウトドアツーリズムを運営する組織の設置について検討を進めるほか、奥州湖交流館の整備を契機として、JOC競技別強化センターに認定されている奥州いさわかヌー競技場への合宿誘致など、スポーツツーリズムを進め、奥州湖周辺のアクティビティ、豊かな自然環境を国内外に発信し、交流人口の増加を推進してまいります。</p>	D：その他、要望・意見・感想等

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
25	6-8	<p>●奥州湖交流館について</p> <p>奥州湖交流館が、アクティビティツーリズムの中心部になるという事であれば、名前を変えた方がいいと思う。例えば、“Lake Oshu Activities Center “など。アクティビティガイド、農業生産者、トレーニングトレーナー、ヨガインストラクター、多言語通訳、SUPガイドインストラクター、カフェオーナー、キャンプ場オーナー、トレッキングガイド、サイクリングガイド、登山ガイド、キャンプの達人など多様な分野の人材で構成されている団体もあり、新しい奥州湖アクティビティセンターの運営団体として、適任の団体だと考えます。</p> <p>奥州湖交流館の中に設置予定のトレーニング施設案は、既に、奥州市Zアリーナや、胆沢町にも施設はがあるので、そちらの活用に繋げるといいと考えます。それよりも、カヌーや、SUPの修理をする場所を、室内に作る方がいいと考えます。それと同時に、春から夏場は、カヌーや、SUPのレースボード置き場が外にあると便利です。シンプルな作りで、有料にして、鍵をかけられて、個人が練習したい時に、すぐに、持ち出しができるとう便利です。サイクリングでは、バイクを立て掛けておけるバイク置き場もいい。</p> <p>奥州湖のフィールドで、全国に活躍できる子ども達を作るために、SUPAのインストラクターが、奥州湖の中心団体となるのが大切。</p>	<p>奥州湖交流館を改修し、奥州湖周辺での多種多様なアクティビティを展開するため、次期指定管理者を募集する際は、多くの事業者に応募いただけるよう周知してまいります。</p> <p>奥州湖交流館に整備予定のトレーニングセンターは、東京都にあるカヌー・スラロームセンターの設備を参考に、カヌー競技者の合宿等での利用、一般の方々も利用可能な施設として整備を進めてまいります。また、現在奥州湖交流館は冬季間は閉館しておりますが、年間を通じて利用できるよう検討を進めてまいります。</p> <p>なお、今年度仮設艇庫を設置予定であり、今後利用者が利用しやすいルール作りを検討してまいります。</p>	D：その他、 要望・意見・ 感想等
26	7-1	<p>広域連携の推進において、秋田県東成瀬村との連携も位置付けるべきではないか。旧胆沢町時代より地域主体での仙北街道の交流、自治体間同士においても焼石連峰親善登山や交流物産展などの広域観光を推進してきた経過もある。</p> <p>●仙北街道大胡桃山トレッキングルート 大胡桃山で引き返すルートとなっているが、歴史の道百選に指定されている東成瀬側の林道終点までをルートとすべきではないか。</p> <p>●焼石連峰ピーチライン サイクリングルート 大森山トンネル前で引き返すルートとなっているが、東成瀬村側のホテルプランまでをルートとするべきではないか。</p>	<p>本構想におけるアウトドアツーリズム構築の課題の一つとして、広域連携を掲げているところではありますが、モデルルート案における東成瀬村との広域ルートについては、コースタイムの設定が長時間となること、ルートの安全性などの面から見送った経過がございます。</p> <p>これまで築き上げてきた東成瀬村との広域連携については、必要なものであることには変わりはありませんので、本構想での位置づけの有無に捉われることなく、引き続きの連携に取り組んでまいります。</p>	C：構想には 反映させず、 今後の参考等 とするもの
27	7-2	<p>つぶ沼を拠点候補施設として位置付けるべきではないか。つぶ沼はキャンプサイトや活用可能な施設（旧レインボーつぶ沼）、駐車場、トイレなどもあり、焼石連峰の登山口、おろせ広場から栗駒焼石ホットラインまでの中継地となり得る立地環境にもある。</p>	<p>本構想におけるアウトドアツーリズム拠点施設への新たな位置づけはいたしません。本構想の推進において、既存施設との連携を十分に考慮のうえ、検討を進めてまいります。</p>	C：構想には 反映させず、 今後の参考等 とするもの
28	7-3	<p>胆沢まるごと案内所の機能をリニューアル後の奥州湖交流館に移転し、一体的な観光情報の発信をするべきではないか。現状の徳水園前は、桜の開花時期は拠点として賑わうが、オールシーズンでの胆沢の観光を考えると胆沢ダム周辺施設での案内機能を持たせるべきと考える。</p>	<p>観光案内機能の集約や観光関連事業者間の連携等、いただいたご意見も参考としながら、今後の胆沢まるごと案内所の在り方について検討してまいります。</p>	C：構想には 反映させず、 今後の参考等 とするもの

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
29	8-1	<p>●奥州・平泉 歴史探訪サイクリングルート</p> <p>総延長が73.8km、所要6時間の周回ルートは一般観光客には、長いルートのように感じるので、栗駒焼石ほっとラインサイクリングルートのように、ショートコースを設定した方がいいのではないか。</p> <p>具体的には、Zプラザアテルイと道の駅みずさわを結ぶ国道343号をショートコースのルートとし、胆沢城跡、藤原の郷の北回りコースと、平泉関連遺跡の南周りコースとして設定するなど。</p>	<p>本構想に掲げるモデルルート案については、他の事例なども参考に本市における候補の一つとして例示しているもので、今後、ジャパンエコトラックへの登録も見据えた検討を進めていくこととなります。</p> <p>いただいたご意見についても参考とさせていただきます、ルートの具体化を検討してまいります。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
30	9-1	<p>モンベルとの連携は、最新のノウハウを生かす点などでは一定程度有効であると考えますが、全国各地に類似の施設が多数存在している中、首都圏近隣と比べ、地理的・気候的条件で劣る本市において、スポーツアクティビティの展開だけでは、魅力に欠き、集客効果は一過性のもとなってしまう恐れがあるのではないかと。</p> <p>遠方からの集客や家族連れなどの多様なニーズへの対応、リピーターの取り込みなどへの効果は薄く、持続的かつ十分な集客は見込めないのではないかと。</p>	<p>本構想における受け入れ体制整備の方向性にて、本市らしいプログラムの育成による地域ならではの魅力発信の重要性と担い手の幅と人数を増やし地域全体の受け入れ規模の底上げの必要性を掲げているところで、人材・ガイド育成においては、市民が担い手の主体となる仕組みづくり、地域が一丸となった「おもてなし」の意識醸成が重要であると捉えています。</p> <p>いただいたご意見についても参考とさせていただきます、来訪者の多様なニーズへ対応し、リピーターへと繋がるようなアクティビティメニューの構築、受け入れ体制の整備に努めてまいります。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
31	9-2	<p>他地域との差別化を図り、本計画を成功に導くためには、全国に誇れる、“国内最大級の胆沢扇状地”（6段の河岸段丘からなる傾斜扇状地）と“国内最大規模のロックフィルダム“胆沢ダム”を前面に押し出した広報、豊かな自然フィールドや既存のアクティビティの活用に加え、地域文化、食やショップ、宿など地域をトータルで売り込む独自性のある戦略が必要であると考えますが、この点の記載について追加してはどうか。</p>	<p>本構想は、アウトドアアクティビティを活用したまちづくりを進めるための基本的な方向性を示すもので、アウトドアアクティビティを軸とした滞在型観光「アウトドアツーリズム」の構築により、地域活性化へ繋げることを目的としています。</p> <p>いただいたご意見についても参考としていただき、アウトドアツーリズムと連携した効果的なプロモーションに努めてまいります。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
32	9-3	<p>●サイクリングルート</p> <p>奥州市胆沢地区において、地理的（河岸段丘により生じた）な高低差や起伏、そこから楽しめる眺望も合わせてアピールできるサイクリングロードの選定と整備すべきと考えます。特に起伏変化に富む南北ルートを選定・追記は必須と思うがいかがか？</p>	<p>本構想におけるモデルルート案の検討にて、県道30号線（前沢北上線：通称あじさいロード）は、昼夜問わず大型車両の通行が多く、サイクリストの安全性確保が難しいと思われることから、ルートへの設定を見送った経過がございます。</p>	D：その他、要望・意見・感想等
33	9-4	<p>●天文台通りから西側に向うルート案</p> <p>397号の南側には、国立天文台 水沢 VLBI 観測所、奥州宇宙遊学館、キッチンKEN、ウイッチの森、馬頭観音堂、まるかん菓子店、トイレ（陸上競技場、屋内プール、体育館、野球場）、奥州スラックインパーク、農家レストランまだ来すた等の施設もあることから東西高低差と食も同時に楽しめるビギナー向けルートとしてはどうか。</p>	<p>本構想に掲げるモデルルート案については、他の事例なども参考に本市における候補の一つとして例示しているもので、今後、ジャパンエコトラックへの登録も見据えた検討を進めていくこととなります。</p> <p>いただいたご意見についても参考とさせていただきます、ルートの具体化を検討してまいります。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの
34	9-5	<p>サイクリングロードの選定・整備に当たっては、河岸段丘を展望できる要所に、看板や案内標識を整備し、胆沢の地理的魅力や散居の文化をPRしてはどうか。（イメージ：こは〇段丘、標高差mなど）</p>	<p>いただいたご意見については、地域資源の魅力を活かした地域活性化策の推進において、参考とさせていただきます。</p>	C：構想には反映させず、今後の参考等とするもの

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
35	9-6	胆沢の散居風景の特徴であるエグネ（屋敷林）、キヅマ（薪の堀）の文化を堪能してもらうために、サイクリングロードの整備に合わせて、地域周辺のキヅマ文化施設の保全、整備（補助制度の創設を含む）を行い、地域の観光資源の発信も合わせて行ってはどうか。	旧胆沢町時代においては、補助金制度により保全整備を行っていたことありますが、現在は新たな補助制度の創設の予定はございません。 いただいたご意見については、地域資源の魅力を活かした地域活性化策の推進において、参考とさせていただきます。	D：その他、 要望・意見・ 感想等
36	9-7	その他アクティビティ施設として、アウトドアスポーツとして家族連れなど、広い世代に近年人気のあるスラックラインを体感できる、奥州スラックラインパーク（今春からスノーボード練習場もオープン）がエリア内にあることから、メニューに追加してはどうか。	本構想に掲げるアクティビティ、フィールドの活用策については、他の先進事例や先行事例の本市における横展開のイメージとして例示させているものであり、個別・具体の事業の検討にあたっては、いただいたご意見も参考とさせていただきます。	C：構想には 反映させず、 今後の参考等 とするもの
37	9-8	奥州スラックラインパークの敷地内にカフェもオープン予定であり「いわてサイクルステーション」登録も可能だが、いかがか。	岩手県の「いわてサイクルステーション」は、バイクラックの設置、工具の貸出、トイレ・休憩箇所の設置といった要件が整えば、登録が可能です。 サイクルツーリズムの推進において、登録施設を増やし、受け入れ体制の充実を図ることが必要と捉えておりますので、登録について積極的にご検討いただければと存じます。	D：その他、 要望・意見・ 感想等
38	10-1	アウトドアツーリズムの拠点とすることに関しては理解できるが、中高年の来訪者の中には周辺エリア地域の歴史について知りたいという方もいるのではないか。 周辺エリアの地域史について元住人や地権者とも協力し合い、資料をベースにして整理し直し、基礎知識として何通りかの形で来訪者が閲覧できるようにするべきではないか。地域史の分からない部分を憶測し、SNS等で誤った情報の発信を抑制するためにも必要だと思う。	「奥州市Web博物館」（ホームページ）において情報発信を行っておりますが、今後も必要に応じた充実に努めてまいります。	D：その他、 要望・意見・ 感想等
39	10-2	過去に家庭ゴミだけでなく古タイヤ、大型家電製品などが私有地内に放棄されたことがあった。昔に比べゴミの投棄は減ったように感じますが、タバコの吸い殻のポイ捨ての投棄はまだあり、特にタバコの吸い殻のポイ捨ては昔から大変警戒されてきました。可能な限りの防止策を要望します。	地域の生活環境にも影響を与える不法投棄の撲滅に向けて、地域との協働により、清掃活動や常習箇所の環境整備など改善を図る必要があります。 また、ポイ捨ても含めた不法投棄は厳しい罰則を伴う犯罪であるということ、また、土地の所有者又は管理者は普段から適切に管理する義務があることを周知徹底してまいります。	D：その他、 要望・意見・ 感想等
40	11-1	旧ひめかゆスキー場のグリーンシーズンの活用策としてジップラインが出ているが、冬場の活用策として本来のスキー場の営業を期待する。カヌー競技者の冬のトレーニング場として捉えたらいかがか。 奥州湖交流館から目と鼻の先と立地に恵まれている。土日のみだけでもいい。そして出来れば一般市民にも開放していただければ。	奥州市では、令和4年度に3カ所あった市営スキー場を1カ所のみ営業することとし、国見平スキー場を運営することに決定したため、ひめかゆスキー場を休止することとしました。現在、ひめかゆスキー場の営業を再開する予定はありませんので、ご理解をお願いします。	D：その他、 要望・意見・ 感想等
41	11-2	奥州湖交流館を拠点とすれば、胆沢まるごと案内所も集約すべきでは。市と観光物産協会の連携が、今後、より必要になると思われる。	観光案内機能の集約や観光関連事業者間の連携等、いただいたご意見も参考としながら、今後の胆沢まるごと案内所の在り方について検討してまいります。	C：構想には 反映させず、 今後の参考等 とするもの

通し NO	No	意見（概要）	検討の結果及びその理由（回答）	意見への 対応区分
42	11-3	奥州湖一周マラソンの実現を要望する。現在のきらめきマラソンは奥州市の東部がルートとなっている。隔年の実施でもいいので、紅葉を眺めながらの奥州湖一周マラソンはいかがか。	現在、奥州市では、実行委員会を組織し、5月の第3日曜日において奥州きらめきマラソンを実施しており現在のマラソンの見直しなど難しい状況にあります。	D：その他、 要望・意見・ 感想等
43	11-4	つぶ沼キャンプ場・焼石連峰つぶ沼登山口の整備をするべき ・管理棟の整備とオープン化 ・レストハウスの整備とオープン化 ・トイレ・炊事場の充実（山菜市場の開催・自動販売機の設置） ・オートキャンプ場の電源敷設 ・焼石登山口の明確化（大きな看板や目印になるような物を設置する等）	つぶ沼広場キャンプ場は、予約不要の無料のキャンプ場として、登山客をはじめ多くの方に利用していただいております。現在、市主導での新たな施設整備は計画しておりませんが、現状の施設の適切な維持管理に努めてまいります。	D：その他、 要望・意見・ 感想等
44	12-1	計画全体の個々の問題ということではなく、全体の仕組みのあり方だと思う。かなり多くを協議しながら進めることが重要と考えるが、SDG sの手法が大切と思っている。モンベルの理念を共有することが大切。	本構想において、包括連携協定を締結している株式会社モンベルとの連携・協力、SDG sを意識した検討の重要性についてを掲げているところであり、いただいたご意見に十分に留意のうえ、検討を進めてまいります。	B：構想と同 趣旨あるいは 記載済のもの
45	13-1	●サイクリングルート サイクリングコースについて以下を提案する。 ひめかゆ温泉～奥州湖～栗駒焼石ホットライン～まつるべ大橋～本寺～衣川～ひめかゆ温泉 もう少し足を延ばして、 巖美溪～達国巖谷～毛越寺～中尊寺 を回るコース	本構想に掲げるモデルルート案については、他の事例なども参考に本市における候補の一つとして例示しているもので、今後、ジャパンエコトラックへの登録も見据えた検討を進めていくこととなります。 ご提案のコースは、モデルルート案の栗駒焼石ホットラインサイクリングルートと重複した部分もございますので、ルートの具体化における参考とさせていただきます。	B：構想と同 趣旨あるいは 記載済のもの
46	14-1	従来型のトレッキング・サイクル・ボード・SUP等関連への整備拡充は（必要ではあるが）先進地域の踏襲であり、二番煎じ、三番煎じに甘んじてしまう。奥州市独自のもの「オリジナリティー感覚豊かで、魅力的な何か…」人工的なダムではありますが、奥州湖の水面を協議の場として競う水上スポーツを提案する。現状のボード・カヌー・SUP同様、短時間、短距離での競技はもちろんのこと、特筆すべきは「水上マラソン・奥州湖祭」とでも表現すべき新しいカテゴリーでの競技が可能となり、さらに日本のみならず世界中に発信できる。 オリジナリティーに富む、世界初の独自性には、市民、近隣からの来訪者、アウトドア志向、インバウンド市場からの観光型から体験型へ、そして滞在型へと導き、本構想（素案）達成への大きな吸引力となる。現実化へのプロジェクト発動となれば、報道関係者、SNS等マスコミも知らん顔はできません。となれば、プロモーションの一翼を担っていただけるといふ相乗効果も期待できる。	本構想に掲げるアクティビティ、フィールドの活用策については、他の先進事例や先行事例の本市における横展開のイメージとして例示させているものであり、いただいたご提案の趣旨である奥州市ならではのアクティビティメニューの構築については、十分に留意のうえ、検討を進めてまいります。	C：構想には 反映させず、 今後の参考等 とするもの